

地域活動における手引きの活用

地域活動の流れとポイント

手引き

ココをチェック!

1. まずは生き物調査を行いましょう

- ◆ 地域にどんな生き物がいるか調べてみましょう!
(昔と比べてどうですか? どんなどころにたくさんいますか?)
- ◆ 生き物の移動や生息の障害となるものを見つけよう!
(地域の環境をよくするためにできることを考えてみましょう)

P.7~8
5(1)調査段階①②

2. 地域の目標や保全したい生き物を決めましょう

- ◆ 地域の皆さんで話し合ってみましょう!
(地域の良い所は? 守りたい・増やしたい生き物はいませんか?)

P.9~10
5(2)計画段階①

3. 対策工法を決めて施工してみよう

- ◆ 保全したい生き物の生息環境を知りましょう!
- ◆ 施設の構造や冬水の有無などを考慮し、適切な対策工法を決めましょう!
(保全対策にはさまざまな方法があります。手引きを参考に、皆さんで創意工夫しながら取り組んでみてください)

P.19~41
【生き物別一覧】
保全対象種の
生態をチェック!

P.46~54
【工法タイプ別一覧】
施工に当たっては
留意事項をチェック!

◇ 専門家のアドバイスをもらいながら、対策工法の検討や施工を行うと良いでしょう。

<参考>
P.15~17
生き物の生息と移動

4. モニタリング調査を行い、効果を確認しましょう

- ◆ 施工後は、効果を確認することが大切です!
- ◆ 不具合がある場合は、補完的対策を行いましょう!
※補完的対策：不具合を解消するために簡易な補修を行うこと

P.65~68
8(1)モニタリング
調査の方法
P.69~74
8(2)機能の評価方法

5. 維持管理は、楽しみながら継続しましょう

- ◆ 農業者だけでなく、地域のさまざまな人や組織と一緒に維持管理ができる体制を作りましょう!
- ◆ 楽しく維持管理を続けるために、施設の利活用について考えてみましょう!
※施設の利活用：環境教育や都市農村交流の場などに活用すること

P.59~60
7(1)地域住民の参加
P.61~63
7(2)維持管理方法
P.75~78
9 参考事例

事例もチェック!